

広 報

はんの樹



- *新年のごあいさつ 2頁
- *最近の出来事から 3-5頁
- *各課便り 6-11頁
- *Visitors 12頁
- *寄付・寄贈品報告 12頁

社会福祉法人 榛桐会

はんな・さわらび療育園

群馬県高崎市榛名山町28-30

年頭のご挨拶

2021年の幕開けから、はや春たけなわの
時節を迎えました。

昨今の世情はとえば、COVID19
crisis(禍)の状況が世界を席卷しているよう
に感じます。今や世界の人口の70人に1

人が感染症に罹っている計算になります。振り返って歴史を紐解く時、
人類の最大の脅威は、戦争や自然災害もさることながら、確実にやっ
てきて多くの命を奪うウイルスのパンデミックであろうと思います。



社会福祉法人 榛桐会
理事長 鈴木憲一

科学技術の進歩した20世紀以後においてさえ、1912年のスペイン風
邪では世界の3~5%の方々が命を落としたと伝えられています。近
年においてさえ、1957年のアジア風邪、1962年の香港風邪、さらに
それに続くSARSやMERS、そして今回の新型コロナウイルス(SARS-CoV2)
感染症と続いております。

はんな・さわらび療育園においては、福祉事業に関わるほかに医
療機関としての位置づけでもあり、感染症対策については、園長以
下職員共々感染症の最前線に位置するという認識と緊張感をもって
対峙しております。

近世日本におきまして、江戸後期、明治に至ってさえ種々の感染
症については、戸口にお呪いの札を貼って難を逃れるなどという記録
もあります。昨今に至っても「要請と自粛」などという日本文化の独
自性で対応することに滑稽ささえも感じられます。

昨今の世情・世相にあっても、はんな・さわらび療育園は、さらな
る進歩・発展を目途に、時の要請に応えるべく来年の桜の時期には
「さわらび医療福祉センター」としてお披露目できる予定であります。

そのためには、職員の意識が一枚岩になるのは当然としても、これ
からも関係各位のご支援をお願いしなくてはなりません。どうぞ今度とも
よろしくご支援を賜りたいと思っております。

令和三年 睦月

最近の出来事から

12月15日 クリスマス祝会

今年はコロナウィルスの影響で、残念ながらご家族様とクリスマス礼拝・祝会を一緒に行なうことが出来ませんでした。また、毎年恒例であるクリスマス礼拝は中止となり、午後のクリスマス祝会のみで開催になりました。各棟チームに分かれて、それぞれで催しを行いました。サンタやトナカイに扮した職員が利用者様の元に訪れ、一緒に写真を撮りました。また職員が演奏するクリスマス曲に合わせて、鈴を鳴らす、太鼓を叩くなど楽しい時間を過ごしました。

保護者会より、様々な支援活動で活用できる品(1棟では大型絵本、CD、CDプレーヤー、アロマオイル)を寄贈していただきました。支援活動で使用し、利用者様もとても喜ばれていました。毎年様々な寄贈品を頂き、ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

今年もとても楽しい一日となったと思います。また次回は利用者様やご家族が一緒になって喜んでいただけるような1日となるように、職員一同願っています。



1月28日 「さわらび医療福祉センター」 指名競争入札

1月28日にはんな・さわらび療育園の移転先である「さわらび医療福祉センター」の建設業者を決める指名競争入札が、はんな・さわらび療育園内で行われました。

入札の結果、佐田建設株式会社様 J v 冬木工業株式会社様に決定いたしました。建設業者が決まったことで、法人内でもいよいよ建設工事が始まるんだと感じる職員が多いと思います。

法人内でも今までは建物関係の会議を毎月行なっていましたが、これからは今行っている業務内容についての会議を行なっていきます。今あるものを移転先に合った業務内容に修正し、マニュアルにその内容を落とし込み、P D C A サイクルに乗っ取って業務が行なえるよう準備してまいります。

建設工事の進捗状況など建設現場の写真をはんの樹を通して皆様にご紹介をしていきたいと思っています。



完成模型



～完成後イメージ～



建設会社様による施設見学

各課便り

第二療育課から

二〇二〇年

二〇二〇年も残りわずかとなりました。今年も新型コロナウイルスの影響もあり、職場環境や私生活でも多くの変化がありました。未だに猛威を振るう新型コロナウイルスに対しては、来年度も感染防止策が生活の一部となりそうです。このような状況下での学業と仕事の両立は大変な面もありましたが、職員の多くの支えもあり乗り切ることができました。

また、利用者様とのかかわりの中でも多くの喜び、やりがいを感じさせていただいています。改めて医療従事者として利用者様の療育に携わられてよかったですと実感しています。まだまだ

未熟で多くの課題があります。が、今後も少しずつでも成長し続けていきたいと思えます。

(准看護師 蛭川 聖也)

花粉症

最近、あちらこちらから、「ハックション」のくしゃみと、風邪症状が無いのに透明な鼻水がたらーと流れている利用者様が見受けられます。「流行にのっけてしまいましたね」「一度来ると来年も同じ時期にまた来ますよ」とお話をさせていただきま

す。私事ですが、二月から四月にかけて花粉症の季節がやって来ます。十年前は症状がなかったため、毎年春になるとレジャーシートやお弁当を持って公園でお花見をして屋台でチョコバナナなど買って楽しみました。今は抗アレルギー剤を内服しなければ積極的な外出は出来ません。お花見、屋台はここ数年足

が遠のいています。私にとって花粉症とは厄介な病気です。

(看護師 長澤 真由美)

クリスマス会

外気温が0℃以下になる日も多く、榛名の寒さを身に染みて感じる季節になりました。

今年は、コロナウイルス感染症で私たち職員もいつも以上に手洗い、手指消毒、マスクの着用で気を付けています。それでも、ウイルス感染者のニュースをみるといつ自分が罹患するかわからない、うつしてしまつたらどうしようという毎日考えてしまいます。

そんな中でも、先日園ではクリスマス会が開催されました。病棟内でもチームに分かれ、ソーシャルディスタンスに注意し手の開催、さわらびに入職して初めて参加しましたが、職員

による楽器演奏やマジックショーがあり、終わってからみんなが歌ってケーキを食べました。クリスマス衣装やトナカイのカチューシャをつけたりして参加した利用者様は皆さんいい笑顔で、開催できてよかったですなあと思いました。

早く安心して、イベントや行事、御家族様の面会が心置きなくできる日を信じて、これからも感染対策を行いながら仕事に励んでいきたいと思えます。

(看護師 松原 千穂)



笑顔

早咲きの梅がほころび、寒さのなかにも春が顔をのぞかせています。

まだまだ終息を見せない感染症に落ち着かない日々が続いています。新しい生活習慣により、手洗いやマスクが習慣化され、この冬はインフルエンザの流行はないのでは…という話も聞きます。

色々な事が制限される日々ですが、今、自分ができるとは、感染対策とご家族様に会えない利用者様に寄り添い、心のこもったケアで、笑顔が見える日々になるよう、励んでいきます。

一日も早く終息し、利用者様とご家族様が笑顔で面会できる日が、訪れるよう祈っています。

(准看護師 石井 富子)

春よ来い

寒い寒い冬もあと少し。榛名の梅もほつぽつと咲き始め、少しづつ春の気配が近づいてきた今日この頃。二月中旬、さわらびの周りだけは真っ白になることもあるけれど、花粉症の出現と共に春を感じ始めました。

昨年の春、コロナの影響があるなか入職し、病棟・チーム内でのコロナ対策・感染対策の中で、日々利用者様が楽しく過ごせるように心がけ看護に取り組んできました。面会制限があり、ご家族の皆様ともお会いすることもできず寂しく思っています。一日も早く、以前のような日常が戻ってきて欲しいと願うばかりです。

そして次の春が来ると、移転の年になり榛名の山ともお別れになります。あと一年余り、この場所での楽しい思い出が作れたらいいなーと思っています。この春も、次の春も、待ち遠しい。

これからもっと暖かくなった

ら、さわらびの周りの桜を見にみんなでお外にお散歩に行きたいなあ。

(看護師 伊藤 美希)

第二療育課から

冬が来る前に

先日、ひまわりグループの利用者様と久々にトレーラー乗りました。

午前中にさくらグループが乗っているのを見ていたZ様が、どうしても乗りたいと泣きながら頭をさげてきたのです。私もトレーラーの運転はあまり自身がなかったのですが、N様の本当に乗りたいたい気持ちと、冬が来たら雪が降るので乗れなくなると思い、決心しました。午後から数名の利用者様を乗せて出発しました。もうN様は乗り込んだだけで大喜びでした。私も前進は難なく走らせましたが、

バックではなかなか入口に上手く付けられず四苦八苦でした。乗っていた利用者様は少し不安だったのかと反省しました。来春までにはもつと上手に乗れるようにしておきたいと思えます。みんなでもうN様を乗り越え、来春に楽しく乗りたいと思っています。

また、コロナに打ち勝ち、来年には自由に面会ができることを願っております。ご家族の皆さんもお身体に気を付けてお過ごしください。

(看護師 浅井 博之)



三月の入職時に既に面会禁止時期に入っており、ご家族様とお顔を合わすことなく一年が過ぎようとしています。利用者様とご家族様が一緒に過ごす様子を早く見られることを願っています。

失礼な言い方になってしまいかもしれませんが、日々の生活の中で利用者様を無条件にかわいい、幸せと思うことが多々あります。自分なりのコミュニケーション方法で一生懸命に伝えようとすると、普段視線が合わない利用者様が目を合わせてくれた時、何気ない時に微笑んでくれた時と様々です。この幸せをこれからも感じられるように利用者様と関わっていききたいと思っています。

(看護師 鈴木 敦子)

ひまわりの利用者様

いつも、お世話になっております。寒さが厳しくなる季節となりました。コロナ禍の中、ひまわりの利用者様は、元気に過ごされています。皆様の元気な姿に自分も元気をもらっています。今後も、ひまわりの利用者様が元気に過ごせるよう関わっていきたいと思います。自身も体調管理には気をつけていきます。

今後とも、よろしくお願い致します。

(准看護師 工藤 大祐)



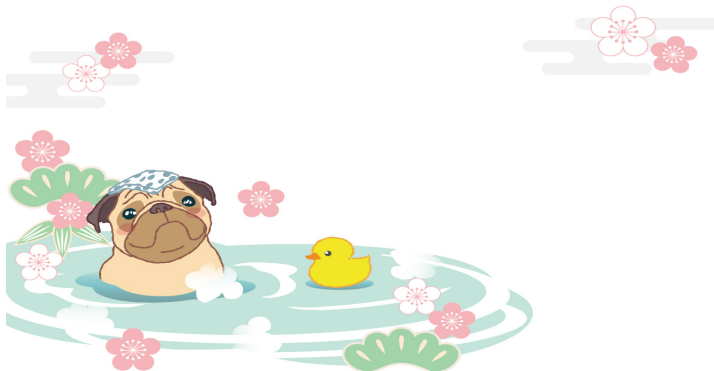
入職してから

寒さのなかにも、少しずつ春の気配が感じられる季節となりました。

今年度より入職し、早いもので十ヶ月が経ちました。入職当初は、ひとつひとつの業務を覚えていくことに必死で自分から利用者様と関わるのが少なかったのですが、今は日々の生活・個別活動のなかで、利用者様との会話やふれあいを持てるようになってきました。

関わっていくなかで新たな発見をすることも多くあり、ひとりひとりを知っていくことが大切だと実感しています。いまだにコロナが続くなか、まだまだ色々なことが制限されていますが、利用者様が安心して過ごせるよう日々の生活が充実できるように考え行動していきたいと思います。

(介護福祉士 小林 沙栄子)



リハ課から

日々のリハビリ

寒さが身にしみる季節になりました。

体調を崩しやすい時期ですが、園の利用者の皆様は元気に過ごされています。病棟に入ると「おはよう」と挨拶する声や、「はい」と元氣よく職員に返事をするにぎやかな声が響きまします。リハビリを通して毎日皆様と関わらせていただき、職員である私の方が元氣をもらっています。また、新しい発見など皆様からはたくさんのお話を教えて頂いております。

担当の利用者様で、右手でマラカスを持ち大きく振ることができる方がいらっしやいます。これまで右手でマラカスを持ち、音楽に合わせて音を出す関わりをしてまいりましたが、最近では私も楽器を一つ持ち一緒に楽器を鳴らす関わりをさせていただいております。関わる中

で視線を合わせて下さり、私が音を鳴らす後に続いて右手を振る様子もみられ、さらに一緒に音楽を楽しめる事が増えてまいりました。

感染の影響でご家族に会えず寂しく感じている利用者様もいらっしゃると思います。毎日の安の日々が続きますが、以前のように面会ができるようになった時に、新たにできるようになったことや新しい発見をご家族に報告できるように、そして何より元氣な姿を見てもらえるように日々リハビリを通してこれからも関わらせていただきますと思います。

(作業療法士 南雲 志芽)



新たなコミュニケーション様式について

コロナウイルスの影響に関する話題が日常的に多く取り上げられています。初めて感染情報や伝えられてから一年が経過しますが、下火になる心配がありません。

当初の混乱と不安を経て、感染予防策の情報が得られ、それに伴い新たな生活様式が提言されています。予防策に不要不急の外出を控えることやテレワークなどが求められる、マスク着用が基本の生活も今までに変わつたものです。

生活の中でも、コミュニケーション様式も大きく変わり定着しつつあるように思います。仕事では業種によってテレワークや在宅勤務となり、プライベートではイベントや飲み会もリモートで行われるようになりました。これまでのコミュニケーション様式が大きく変わつたと言えます。違和感を感じ

る人も多いと思いますが、時間や経費においてメリットを生んでいるとも思います。同じ空間での直接的会話も、マスク着用で相手との距離を取り行われるのがこのところ自然に感じています。コミュニケーションの内容や質の低下がないように、私たちはこの様式が生活の中で当たり前となり、さらなる工夫が必要なかも知れません。時間的に急激ではあるものの新たなこの文化を認識して、新たな時代に入っていく用意を求められているように感じます。

ただ、常日頃、利用者との向き合うことに喜びを感じながら接しています。今、日常生活的感染予防策を取る最前線にあり、これにより利用者と継続的に安全なコミュニケーションを深めていきたいと考えています。先の終息を待つだけでなく、二通りの様式を使い分けて適応していきたいと思えます。

(リハビリ課課長 谷口 知央)

再び

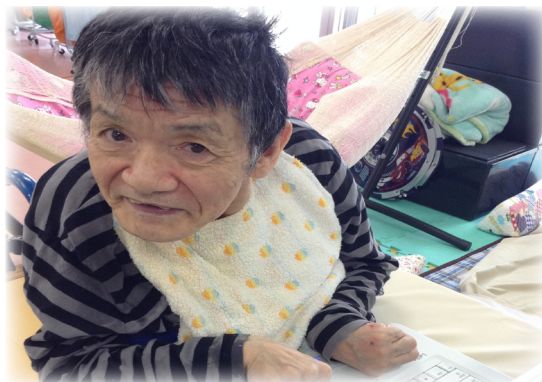
春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしですか。私は入職して今年度で四年となりまして。入職してすぐから二年担当させて頂いた利用者Hさんを今年度も再度担当させて頂いています。そんなHさんとのリハビリについてお話しさせて頂きたいと思います。

コロナ禍ということで訓練棟でのリハビリは行っておらず、チームのリビングまたはお部屋ですしています。そんな環境の違いなどから、以前担当させて頂いた時と今とでHさんとの関係が変わりました。今まではリハビリの人、約束の時間に来る人と言った感じに思われていたと感じます。現在、就業中はずっと病棟内にいることにより、以前よりもHさんの生活の中にあることにより馴染みのある職員の一人として思ってもらえてるのではないかと思います。例えば以前担当していた際

は、体を動かすようなリハビリらしいリハビリ以外はしたくないと断られてしまうことも多くありました。今は色々なことに挑戦してもらえようになり、新たな一面を私に知られると「バレたー」と笑顔でお話するようにになりました。他職員とは違う一面、発言をされたり、冗談を言つて楽しんだりと朋友のような：以前よりも良い関係が築いていつているように思います。

コロナ禍で色々なことに制限のある状況ではありますが、これからの色々なことに挑戦しHさんの良いところを見せてもらえようリハビリをしていきたいと思えます。

(作業療法士 関口志帆)



前向きに

立春とは名ばかりでまだまだ寒い日が続いております。

新型コロナウイルス感染症により何かと不便の多い日々となつてから一年が経ちました。さわらび療育園においてもご家族の面会が出来なくなつたり、所属しているチーム以外の利用者、スタッフと顔を合わせる機会もなくなりました。プライベートでも同様で、今までは気軽に会えていた家族や友達に会えないこと、気軽に外出できないことで心細い気持ちになることがあります。リハビリをしながら「この方も、どうして最近家族が逢いに来てくれないのだろう、どうして病棟から出ないのだろう、と」思っているかなと、ふと考えます。そんな時、私は利用者様に生活の中で嬉しい気持ち、楽しい気持ちをもつと感じてほしいと、より強く感じます。

私はさわらび療育園に入職してもう少しで二年が経ちます。



色々な場面でまだまだ考えが至らない部分がありますが、理学療法士として利用者にできることを日々考え、精進して参ります。新型コロナウイルス感染症が一日でも早く終息し平穏な日常に戻りますようお願いしております。

(理学療法士 高橋 瑠伽)

通所支援 事業所から

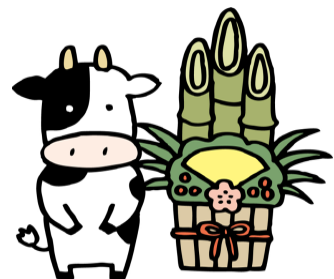
春よ来い

二月になってから寒い日が続きながらも、四月を思わせるような陽気の日もあるようになりました。そんな日は通所支援事業所の利用者様もしっかり身支度をして戸外へ散歩に出かけます。空はきれいに真っ青。気持ちがいいですね。春が近づいてくるのを感じながらゆっくり園内を回ります。遠くに見える山々も春の到来に向けて準備をしているのでしょうか。日常では忘れがちですが、こんな時はそんなことも考える機会になりますね。

世の中では未だ新型コロナウイルスにより様々な方々が影響を受け、私たちもその渦中に入ります。この一年は本当に辛い厳しい日々でした。現在もそれは続き、冬の間じつと耐えている動物や植物たちと同じように思

えます。でも、明けない冬はないのです。コロナに翻弄されるのを冬とするなら、それを乗り越えて春に例えた日常を取り戻すことがきつとできるでしょう。ワクチンの接種も現実的なものになってきています。人類はこれまでもたくさんの脅威と戦って傷つきながらも乗り越えてきたのですから待ちましよう、春の訪れを。それまでは手洗いうがいなど、私たちができること、しなければならぬことをしっかりとやっていきましよう。利用者様、ご家族様、職員の皆さんどうぞよろしくお願ひします。

(管理者 飯野 茂樹)





十二月四日
榛名地域小中学校PTA 慰問

榛名地域小中学校全八校のPTAの皆様が、今年も慰問品を携えて、利用者の皆様へ激励に訪れて下さいました。当園のことを榛名地域の皆様に理解していただく機会として、年末の恒例行事となっています。

今年はコロナウイルス感染拡大防止の為二名の方が来園され、ハンドソープやシャンプーなどのたくさんの慰問品を寄贈していただきました。物心両面において、毎年ご支援を賜り感謝申し上げます。大変、ありがとうございました。



寄付・寄贈品の紹介

十二月八日

寄贈主

榛名地域小中学校PTA 様

寄贈品

- ハンドソープ 五十五個
- ボディソープ 二十二個
- シャンプー二十個
- コンディショナー 二十二個
- 洗濯洗剤 七個
- 食器用洗剤 二個

十二月十六日

寄贈主

越水郁子 様

寄贈品

- お米 一袋(十キロ)
- 五連ミニボーロ 十四個
- エイセイボーロ 二十三個
- フルーチェ 四十一個



一月六日

寄贈主

保護者会 様

寄贈品

愛媛みかん 六箱



←100%みかんゼリーにして美味しくいただきました！！



いつもご支援を賜り、感謝申し上げます。

2020年12月～2021年2月の主な行事

十二月

- 一日 月 研修委員会
- 二日 水 ISO9001サーベイランス審査(二～三迄)
- 八日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十四日 月 サービス向上委員会
- 十五日 火 入所部門基本構想策定会議
- 二十二日 火 クリスマス祝会
- 二十四日 木 拡大連絡協議会・感染対策委員会

一月

- 五日 火 研修委員会
- 十二日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十八日 月 事業実績ヒアリング(十八～二十日迄)
- 二十一日 木 令和二年度全国重症心身障害児者施設職員研修会
- 二十五日 月 常任理事会
- 二十六日 火 ISO推進会議
- 二十八日 木 「さわらび医療福祉センター」指名競争入札
臨時理事会

二月

- 二日 火 研修委員会
- 八日 月 2021年度事業計画・数値目標ヒアリング(八～十二日迄)
- 九日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十五日 月 サービス向上委員会
- 二十二日 月 入所部門基本構想策定会議
- 二十二日 水 連絡協議会
- 二十五日 木 ISO推進会議
- 二十五日 木 常任理事会

社会福祉法人 ^{しん} 榛 ^{とう} 桐 ^{かい} 会
はんな・さわらび療育園

〒370-3341

群馬県 高崎市 榛名山町 28-30

TEL 027-374-9221(代)

FAX 027-374-9159

<http://www.shintokai.jp/>

E-mail:sawarabi@h-sawarabi.com

発行責任者 園長 金子 広司